福井県 公立高入試 社会 セット2 後半

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。
問9〜13（全13問の後半）

名前

出席番号　必要な人は書く

問9　関東地方の農業統計によると、茨城県はピーマン、ほうれん草、はくさい、レタスといった野菜の生産において全国でも有数の規模を誇っています。この地域で野菜生産が盛んになった理由として、地理的な背景と流通の仕組みから説明したものとして最も適切なものはどれですか。

- ○ 大消費地までの距離が近いため、輸送費を抑えながら鮮度を保ったまま出荷できるから。
- ○ 標高の高い地域が多く、夏でも涼しい気候を利用して他の地域より遅い時期に出荷できるから。
- ○ 土地価格が非常に安く、広大な農地を確保して穀物生産に特化することが容易だったから。
- ○ 冬でも温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどを用いて出荷時期を早める工夫をしているから。

問10　日本国憲法の改正手続きにおいて、国会が国民に対して改正案を提示する「発議」を行うために必要な要件について、正しい説明はどれですか。

- ○ 衆議院と参議院のそれぞれで、総議員の過半数の賛成を必要とする。
- ○ 内閣が改正案を作成し、衆参両院の総議員の過半数の賛成を必要とする。
- ○ 衆議院と参議院のどちらか一方で、出席議員の3分の2以上の賛成を必要とする。
- ○ 衆議院と参議院のそれぞれで、総議員の3分の2以上の賛成を必要とする。

問11　1989年に地中海のマルタ島で行われた、アメリカとソ連の首脳による会談の内容として、歴史的に最も重要な説明はどれですか。

- ○ 第二次世界大戦後から続いてきた冷戦の終結を正式に宣言した
- ○ 国際連合の設立を決定し、安全保障理事会の枠組みを構築した
- ○ ドイツの無条件降伏を求め、戦後のドイツ分割統治を合意した
- ○ 第二次世界大戦の戦後処理について、連合国の首脳が初めて協議した

問12　日本国憲法第25条では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されています。社会権の代表的な権利であり、国が生活保護や社会保障制度を通じて国民の生活を支える根拠となっているこの権利は何ですか。

- ○ 教育を受ける権利
- ○ 労働基本権
- ○ 生存権
- ○ 勤労の権利

問13　東北地方では、米の農業生産額が全国シェアの約25%を超えるほど稲作が発展していますが、このように「日本の食料基地」と呼ばれるまでに至った背景や工夫として、最も適切な説明はどれですか。

- ○ 寒冷な気候による冷害を克服するために、耐寒性の高い品種への改良や、大規模な土地改良事業が進められたから。
- ○ 政府の減反政策に対応するため、米の生産面積を縮小し、付加価値の高い果樹栽培へ全面的に転換を図ったから。
- ○ 化学肥料に頼らない伝統的な農法を維持し、小規模な家族経営の農家が多品目の米を少しずつ生産する体制を守ってきたから。
- ○ 冬の積雪を農業用水として利用するために、山間部の傾斜地を切り拓いて数多くの棚田を造り、生産量を増やしたから。